

大学のステージを管理・運用！ ステージ管理委員会



◆ステージ管理委員会って？◆

ステージ管理委員会(以下、当委員会)とは、大学内のステージの購入・管理・運用を行う団体です。学生自治会・白鷺祭実行委員会・友好祭実行委員会で構成されています。

◆これまで半年間で具体的に何をしたの？◆

①より適切なステージ運用のための話し合い

当委員会はステージの現状確認や再購入に関する話し合いを行い、ステージの第2期再購入における各団体の負担金額を決定しました。また、ステージ管理委員会規約の改正を行い、新規約を「ステージ管理委員会管理局規定」として内容を一新しました。



②学生会館前ステージ利用の確保

近隣住民から音量等に関する苦情が寄せられたことで、大学よりクラブ・サークルによる学生会館前のステージの利用を認めないという通達がありました。それに対し、当委員会は学生センター・学生課サポートグループと協議し、以後音量を抑えるなどという条件の下、クラブ・サークルによる学生会館前のステージの利用を確保しました。

③ステージの天板の補修・防腐剤の塗布

ステージ2台について天板の一部が老朽化していたため、白鷺祭実行委員会・友好祭実行委員会の協力の下、補修・張替作業を行いました。また、ステージ3台全てに防腐剤を塗布しました。

④ステージの保管場所についての話し合い

当委員会は封鎖されるB7棟倉庫・B7棟北倉庫の中にステージ1台分を保管していました。そのステージの新しい保管場所を確保するため、当委員会では話し合いを行ってきました。





◆これから半年間で具体的に何をするの？◆

①より適切なステージ運用のための話し合い・日頃の管理業務

これからも当委員会はステージを適切に管理・運用するため、ステージの現状確認や話し合いを行い、ステージ常設時にはステージの監視・保護など、日頃の管理業務を行います。また、話し合いの中でB7棟北倉庫に保管されているステージが適切な環境下で保管できるように調整していきます。さらに、ステージの安全を確保するため、全てのステージに関して定期点検を行います。



②学生会館前ステージの利用の確保のための活動

これまでの活動に書いてある通り、音量などの利用条件が守られなければ、クラブ・サークルは学生会館前のステージを利用できなくなります。そこで当委員会は、ステージ利用時にその条件が守られているかを S.T.A.F.-1 の協力の下確認し、さらにその条件が徹底されていくよう具体的な対策を検討します。

③新歓時期のステージ利用の調整

毎年4月頃の新歓時期には、より多くのクラブ・サークルがステージを利用します。その際、利用を希望する団体間に利用頻度の格差が生まれるなど、様々な問題が生じる可能性があります。そこで当委員会は新歓時期のステージ利用が円滑に行われるように、利用調整会議を行います。その会議の際、利用団体に対し、ステージ利用時の注意を行い、ステージが適切に利用されるように調整します。



◆ぶれいく たいむ◆

みなさんは知っているでしょうか？ ステージの設立が許可されている期間は友好祭と白鷺祭が活動するための期間です！ 具体的には4月半ばから6月初めまでと、10月初めから11月半ばまでです。この期間中だけクラブ・サークルはステージ利用が可能です。**しかし、音量に注意して使わないと、近所から苦情がきて、大学はもうクラブ・サークルはステージ利用を許してはくれません！** みなさん、これからもステージを使いたいですよね。そのためにはステージ管理委員会の注意をよく聞いて正しく使いましょう！